

3 / 5 (火) ~ 13 (水) の行事

報道発表資料の配付日時 2月 29日 (木) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和5年度(2023年度)「ほっかいどう未来輝く子育て大賞」受賞者決定のお知らせ		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道内で地域の子育て支援活動に意欲的に取り組む団体又は個人、企業を表彰する「ほっかいどう未来輝く子育て大賞」の令和5年度(2023年度)受賞者が決定しました。</p> <p>受賞者の取組は、身近な子育て支援のモデルとして、道の広報媒体により広く紹介していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 選考方法 北海道子どもの未来づくり審議会委員及び特別委員からなる評価検討会を設置し、審査の上、4者を決定しました。 ○ 受賞者 <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人 ゆめみ〜る ・一般社団法人 苫小牧風花の会 ・信濃小学校親父の会 ・けんぶち絵本の里を創ろう会 ○ 受賞者の活動内容 別添資料のとおり ○ 贈呈式 受賞者の所在地を所管する振興局又は本庁で贈呈式を実施し、賞状と副賞の授与を行います。 また、副賞の絵本については、北海道と包括連携協定を締結している株式会社三省堂書店より寄贈されます。 		
参考	受賞者の取組は <u>他の団体等の模範となる</u> ようなものであり、また、 <u>地域の子どもや子育て家庭に対し広く貢献している</u> ものです。		

報道(取材)に当たってのお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・民間における創意工夫ある子育て支援の取組を促進し、地域全体で子育てを支援する気運の醸成を図るため、広く道民への周知をお願いします。 ・本庁舎で実施の贈呈式を取材いただける場合は、3月13日(水)午前中までに下記担当宛てご連絡ください。 		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	各団体の贈呈式の詳細については、別添のとおり実施予定。 胆振及び上川総合振興局からも報道発表予定。	

担当 (連絡先)	保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課 (担当者: 主幹(連携調整) 菅谷 雅之) TEL ダイヤルイン 011-206-6309 内線 25-755		
-------------	---	--	--

**令和5年度(2023年度)「ほっかいどう未来輝く子育て大賞」
贈呈式 実施予定一覧**

団体名	実施予定日時	担当部局
	場所	
けんぶち絵本の里を創ろう会	3月5日(火) 14:00~ ----- 上川総合振興局 2階 応接室	上川総合振興局保健環境部 社会福祉課子ども子育て支援室 (電話: 0166-46-5990)
特定非営利活動法人 ゆめみ〜る	3月8日(金) 14:00~ ----- 胆振総合振興局 2階 会議室(保健環境部)	胆振総合振興局保健環境部 社会福祉課子ども子育て支援室 (電話: 0143-24-9845)
一般社団法人 苫小牧風花の会	3月8日(金) 14:00~ ----- 胆振総合振興局 2階 会議室(保健環境部)	胆振総合振興局保健環境部 社会福祉課子ども子育て支援室 (電話: 0143-24-9845)
信濃小学校親父の会	3月13日(水) 15:00~ ----- 北海道庁本庁舎 6階 こども応援社会推進監室	保健福祉部子ども政策局 子ども政策企画課 (電話: 011-206-6309)

受賞者の概要

部門	受賞者及び活動内容
団体	<p>特定非営利活動法人ゆめみ〜る（登別市）</p> <ul style="list-style-type: none">開始時期：平成20年10月（週6日実施）地域住民が集う機会の減少への対策として、地域食堂を立ち上げ、その収益で地域サロン活動、子育て支援、子ども支援活動などを開始。令和3年にはフードバンク事業、学習・居場所支援も開始した。子ども支援系事業として、フードバンク、不登校・ひきこもり児童の支援、学習支援、子ども食堂を行っている。子ども食堂と学習支援事業の連携はロールモデルとなっており、他の子ども食堂の立ち上げ支援も行っている。支援を必要とする子どもの発見（アウトリーチ）を促進するため、フードバンクと民生・児童委員が連携し、アウトリーチを行い、子どもの相談を引き出すプロセスが成果を上げている。
団体	<p>一般社団法人苦小牧風花の会（苫小牧市）</p> <ul style="list-style-type: none">開始時期：昭和26年5月（週7回実施）戦後の混乱期、戦没者の家族に何の補償もない時代に「わが幸はわが手で」をモットーに同じ境遇の仲間が相互に助け合い、子どもの幸せを願う目的で発足。現在まで継続している。ひとり親家庭の母親の就労の場の確保や、子どもたちの健全な成長を願い相互に助け合っており、子どもの成長に合わせ、日帰り旅行やフェリー旅行、新入学お祝い会、中学生になると学習塾、高校生には給付型奨学金の案内など切れ目のない支援活動を継続している。
団体	<p>信濃小学校親父の会（札幌市）</p> <ul style="list-style-type: none">開始時期：昭和61年（年20回実施）野球チームの懇親を目的に創立されたが、平成24年11月に開催された「全国おやじサミット札幌大会」への参加を機に、「全ては子どもたちのために、できる人ができるときにできることを」をモットーに活動の幅を広げ現在に至る。現在は小学校だけではなく、町内会・自治体・子ども食堂等とも取組を広げている。世代交流づくりを意識して活動を行っており、町内会活動では幼児からその親世代、地域のご年配の方々とのコミュニケーションが増え、顔の見える町内会づくりに貢献している。
団体	<p>けんぶち絵本の里を創ろう会（剣淵町）</p> <ul style="list-style-type: none">昭和63年6月（月1回実施）絵本原画展開催をきっかけに、町内外に絵本の里けんぶちをPRする活動を継続している。町と協力して絵本の里大賞運営に携わるほか、全道制覇を目標に各市町村を絵本トラックで巡回する事業を開始した。町内外の人に絵本の魅力を知ってもらうため、また、絵本の里けんぶちをPRするため、剣淵町内イベントでの読み聞かせ、町外派遣読み聞かせ（絵本トラック巡回事業）を実施しているほか、作家を招聘してのお話会等を開催し、町内の子ども達が直に作家と交流する機会を提供、コロナ禍では全国手作り絵本コンクールを開催し、創作活動の楽しさを広く共有した。